やさかだより7 No. 103

八坂地域づくり協議会　https://www.shinshu-yasaka.com　2024年（令和6年）7月1日

7月号の記事

地域づくり協議会の活動から ……2
花いっぱい事業 ……3
地域活動 ……4
たけのこ保育園/八坂小中学校（後期課程） ……5
八坂小中学校（前期課程） ……6
コミュニティ・スクール ……7
山留の風/八坂ＰＲ（立川市） ……8
公民館 ……9
話題の八坂人 ……10

八坂地区ふれあい運動会公民館種目「トロール船」より
※ふれあい運動会の様子は次号で詳しくお伝えします。

八坂地区の人口: 693 人
（男351人･女342人）
八坂地区の世帯:341 世帯
（令和６年６月１日現在）

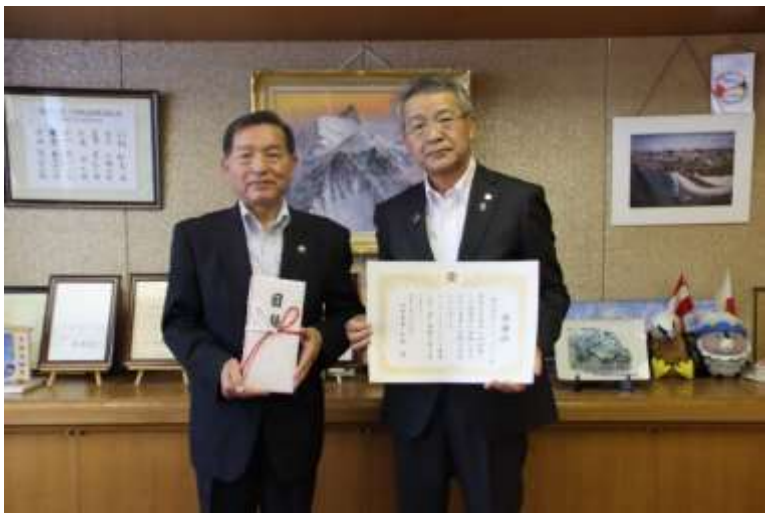
地域づくり協議会の活動から

期日	区　分	内　容　等
4/14	芸術祭ボランティアへの協力	・竹集めボランティアへの協力
5/16	第１回総務部会 第１回やさかだより編集会議	・７月号の編集内容について
5/24	第１回八坂地域づくり協議会	・八坂警察官駐在所連絡協議会（曽根原主任） ・令和６年度要望書について ・花いっぱい事業について ・行政連絡
6/12	第２回自治振興会長会議	・山村留学　受け入れ農家確保について ・八坂地域自治組織見直し検討について
6/22	相川・大曲ポケットパーク花植え	・八坂商工倶楽部主催、やさかボランティア隊

北アルプス国際芸術祭 2024 竹取りボランティア

北アルプス国際芸術祭のボランティアとして４月14日（日）竹集めのボランティアを行いました。当日はアーティストのヨウ・エンフーさんも一緒に作業を行いました。急な要請にも関わらず総勢30名ほどのボランティアが集まり300～400本の竹を伐りだしました。

㈱ピュアハウス様　寄附金贈呈式



６月10日（月）㈱ピュアハウス（内山重喜代表取締役）が創業25周年を記念し八坂地域づくり協議会の活動資金に活用してほしいと大町市に50万の寄附金を贈呈されました。内山代表は、「生まれ育った八坂で会社を創業し、ここまで続けてこられたのは、地元の皆様のご協力あってのこと。八坂のために使っていただければ」と、お話しされました。

また、牛越市長から「地域の振興・発展のためしっかりと有効な活用方法を検討していきたい」とお礼の言葉をいただき、感謝状を受け取りました。

8/3(土)第 46 回大町やまびこまつり参加者募集について

「第46回大町やまびこまつり」が８月３日（土）に開催され、八坂地区では今年も「やさかおどり連」として参加いたします。昨年は、60名を超える方々のご参加をいただきました。本年もご家族ご近所お誘いあわせのうえ、大勢の皆様のご参加を宜しくお願いします。

（昨年度の様子）

昨年は大勢の参加がありました。今年もよろしくお願いします

花いっぱい事業　各集落で花植えを行いました。

八坂地域づくり協議会は花壇づくりを通じて、地域、世代間を越えた交流を深め、集落の活性化と美しい地域づくり活動を推進する事業「花いっぱい事業」を６月に実施しました。

トラック３台に満載された花苗を各地域に配り地域の方たちが花壇に植えました。今年度は新たに申し込みのあった団体や、苗の値上がりもあり、予算を少しオーバーしてしまいましたが、地域の皆さんのやる気を優先し実施しました。（来年度は少し調整するかもしれません）

八坂地域振興支援員コーナー　小浪和正

H30 年度より地域振興支援員として２期６年間携わってまいりました。その間地域の皆様には大変お世話になり、皆様のご協力に感謝申し上げます。この度、再々任用という事で、引き続き地域振興支援員として働かせていただく事になりましたので、引き続きよろしくお願いいたします。前回の再任時にもお書きしましたが「地域支援員の仕事は何か、分かりづらいと思いますが皆様ご意見をお聞きし皆様の思いに寄り添いながら地域を考えていきたいと思いますので、これからもご支援をお願いします。」

今年度からは野平自治振興会長としても協議会や自治振興会長会議に出席し他の自治振興会長と地域づくりに係わってまいりますが、広く皆様のご意見をお聞きするため電話番号とメールアドレスを書いておきますので、お気軽にお声がけください。

電話：0261-26-2001
メールアドレス：　25124@city.omachi.nagano.jp　までお願いします。

切 久 保 自 治 振 興 会

切久保馬場沢(ばんばざわ)公園整備

６月２日（日）に切久保地区を流れる馬場沢において会員による草刈りを実施しました。ここに植えた桜と梅は二十年近くがたち、春先には多くの花をつけるようになって目を楽しませてくれます。当日は天気の荒れる予報で心配しましたが作業中はほとんど雨に合うことはなく、合わせて実施した切久保グランドの草刈りが終了したタイミングで雨が降り出しました。皆さんが雨を意識してかいつもより作業が早く進んだようで、チームプレーの成果かなとも思えます。その後公民館に移動し動物駆逐用の花火を扱うために義務付けられている年一度の煙火講習会を受講しました。講師は松本の華松煙火さんに毎年お願いしています。昨年は大町市において花火による事故により怪我をされた方もいたということで、取扱には専用ホルダーを必ず使用するなど十分注意してくださいとのことでした。このところ切久保地区ではサルの出没は減ってきていますがシカが多く目撃されており、その対策についても今後工夫が必要になってきそうです。

切久保自治振興会
立花　康一

矢 田 川 磨 崖 仏 祭 礼

５月 26 日(日)に矢田川磨崖佛祭礼が行われました。矢田川磨崖仏保存会会長 上條強さんのご挨拶のあと、参列者全員がお線香をあげお参りしました。山伏姿の藤尾覚音寺の和尚様による法螺貝と読経、直会ではお供物をいただきながら、磨崖仏の歴史などお話をお聞きしました。

保存会の方々からお誘いいただき、山村留学生も参列させてもらいました。

大平自治振興会
金子　しげみ

たけのこ保育園

5月14日（火）消防署の見学、西公園へ遠足に行ってきました

当日は快晴で、絶好の遠足日和となりました。子どもたちは朝から元気いっぱいで、保育園でも笑顔が溢れていました。

消防署では、救急車・はしご車・消防自動車を見せていただき乗車体験もさせていただきました。公園に到着してからは、まずみんなで集合し、約束を確認しました。その後、好きな遊具での遊びを楽しみました。特に人気だったのは、大きなたこ滑り台でした。子どもたちは、思い思いの遊びを満喫していました。

お弁当タイムでは、持参したお弁当を広げ、みんなで楽しく食事をしました。「お母さんが作ってくれたおにぎりが美味しかった！」「友達と一緒に食べるのが楽しかった！」といった声が聞かれました。午後の時間も存分に楽しんだ後、無事に保育園に戻りました。

帰りのバスでは、遊び疲れて眠ってしまう子も多く見られ、充実した一日だったことが伺えました。子どもたちからは、「またきたい！」「楽しかった！」といった声が多く聞かれました。遠足を通じて、自然の中でのびのびと遊ぶことができました。

5月24日（金）4，5月生まれのお友達を祝う誕生日会を行いました

誕生日会は、子どもたちの期待に満ちた笑顔で始まりました。まず、誕生日のお友達が前に出て、名前や好きなことを発表しました。「虫が好きです」「５歳になりました」と元気に発表する姿に、みんなから大きな拍手が送られました。

その後、「おめでとうたんじょうび」の歌を歌い、お祝いしました。誕生日会では、子どもたちの発表も行いました。

子どもたちからは、「すごく楽しかった！」「またやりたい！」といった感想がたくさん聞かれました。誕生日のお友達も「みんなに祝ってもらって嬉しかった」と話してくれました。

八坂小中学校後期課程

5月15日（水）ガードレール磨き

伝統ある「ガードレール磨き」も今年で42回目を迎えました。開始式では、建設事務所の方から「ガードレール磨き」を何故やっているのか説明をしていただきました。

八坂小中学校5・6・7・8・9年生が各分担に分かれ、建設事務所、八坂支所、地元の建設業者さん、PTAや地域のみなさんにお手伝いをいただきながら、ガードレールを磨き上げました。

作業中の児童、生徒の顔は真剣そのもので、心を込めて磨くことができました。

多くの方に支えられながら継続することができていることに感謝をしながら、これからも伝統的な活動を引き継いでいきたいと思います。

連学年遠足

好天に恵まれ、５月２日（木）に連学年での遠足を実施することができました。１～２年生は、学校協働隊の北澤伸夫さん、松島吉子さん、小野和歌子さんに同行していただき、藤尾観音寺及び周辺を見学、散策し、午後は大平マレットゴルフ場でマレットゴルフを体験して楽しみました。

３～４年生は、学校協働隊の田中照幸さん、伊東昌希さん同行していただき、バスを利用しながら城ヶ峰まで行ってきました。途中、田中さんに植物や歴史の話をしていただき、自然や歴史の学習も行うことができました。

５～６年生は、伊藤悦男さん、渡辺恵子さん、秋山弥生さん、矢羽田匡彦さんにご同行いただき、今や人気の場所となった大姥山の、長く険しい山道を歩き通してきました。

子どもたちの安全確保とともに、地域の自然や地形、歴史伝説などに関わるお話を学校協働隊の皆さんから拝聴し、大変学びの多い遠足にすることができました。協働隊の皆さん、ありがとうございました。

全校出発の会

学校協働隊（支援ボランティア）の皆さんに挨拶、「よろしくお願いしま～す。」

１・２年生

藤尾観音寺

３・４年生

城ヶ峰山頂

５・６年生

大姥山山頂

コミュニティ・スクールだより

おらほの学校やさか

前期課程5年生　田んぼの活動記録

水路整備～4月27日（土）～

５年生保護者、山留生、地域の方、学校協働隊の皆さんの協力のもと、水路整備を行ないました。

途中、険しい道もありましたが、水源からパイプや樋（とい）を使って田んぼまで水が通るように整備していきました。

代掻き～5月15日（水）～

学校協働隊の北澤豊繁さんのご協力のもと、代掻きを行いました。

水源から入ってくる水はとても冷たく、「冷たい！」と子どもたち・・それでも一生懸命に土を踏んで作業していました。田んぼの真ん中は、水が温かく不思議でした。おいしいお米が出来るように一人一人願いながら土の感触を感じていました。

田植え～5月22日（水）～

学校協働隊の北澤豊繁さん、山留センター指導員の大山楽人さんにご指導していただき、田植えを行ないました。手早く黙々と進める田植え経験者・・・経験ない子どもたちは戸惑いあり、笑いありですが、一生懸命に田植えをしていました。

子どもたちの感想を紹介します。

「15㎝～18㎝あけて植えました。きれいに植えられてよかったです。」

「泥が柔らかかったので、やりやすかったです。」

「最初は。水が冷たいし、植え方がよく分からなかったけど、慣れてくるとうまくできて楽しかったです！」

「学習したことがたくさんありました。学習したことを生かして、今後の田植えをしたいです！」

今年から赴任された担任の花岡慶祐先生の感想を紹介します。

「田んぼ作業は、やったことはありましたが、裸足で入るのは初体験で、土の感覚が味わえ、良い経験をさせていただきました。収穫したお米を販売する計画もあり、何よりもみんなでお米を味わいながらの収穫祭がとても楽しみです！」と感想をいただきました。

今年はどんなお米が出来るのか、収穫祭も楽しみですね！

「PTA 環境整備作業」

５月25日（土）曇り空のもと、ふれあい運動会に向けて前期課程校舎校地内（旧小学校）の環境整備（草刈、石拾い、トイレ掃除など）を行ないました。

子どもたちをはじめ、地域の方々（学校共働隊含む）、保護者、前期、後期課程の先生方含め、多くの方々に来ていただき、急な斜面を含めて広範囲行なえ、とてもきれいになりました。

GW 親子行事

入園以来１か月ぶりの再会となる保護者の他、修園生も集い、総勢 70 名ほどでの賑やかな２日間となりました。

１日目は、一年間お世話になる農家さんに挨拶をするために、農家訪問を行いました。お手製の煮物や山菜料理などのおもてなしで、和やかなひと時となりました。この日の夕食後は、親子で太鼓のワークショップも実施し、４月から学園生全員で取り組んでいる演目に保護者も挑戦し盛り上がりました。２日目は、親子で鷹狩山に登ったり、センター周辺を巡り山菜探しを行いました。タラの芽やコシアブラなど、沢山の山菜を採ることができ、天ぷらにして美味しく頂きました。２日間を通して、親子で共に八坂・美麻の自然に沢山触れて、満喫することができました。

田んぼの作業

保護者とお別れをした後、午後は田んぼの代かきを行いました。センターでは作業の大変さ、先人の苦労を体験するために、できるだけ手作業で行います。全員で裸足になって田んぼへ入り、横５列になって、みんなで何往復も歩くことで徐々に土と水が混ざり、足元が緩くなっていくのを感じます。最後は全身泥だらけになりながらも、みんなで最後まで作業をやりきりました。

５月１９日に、田植えを行いました。田んぼに引かれた線を目印に、苗を植えていきました。初めて体験する子もいましたが、みんなで協力し合って、全面にしっかり植えることができました。季節の移り変わりとともに成長する稲の様子や、センターの田んぼがある棚田の景色の変化が今年も楽しみです。

立川市のアンテナショップで八坂を PR してきました！

今年も６月１日（土）・２日（日）の２日間、姉妹都市立川市で開催された「信濃大町フェア」に大町市産の野菜やお酒、八坂産の淡竹などの PR に出かけてきました。今年は、昨年よりさらに早い開催であったため、収穫量が 75 キロと昨年の４分の１の量となりましたが、販売前から多くの方が並び長い列となり、お一人様３キロまでと購入制限をかけ、それぞれ好みの淡竹を選んでいただき量り売りをしました。

１時間を待たず完売となり、後から訪れたお客さんから、次回の入荷を期待する声が多く、後日改めて納品するお約束をして帰ってきました。

今回は、八坂地区のみなさんに呼びかけをして淡竹集めにご協力をいただき、無事にお届けすることができました。家で食べる予定の淡竹を譲っていただいた方、「淡竹あったよ。少しでもいいかい」とわざわざ支所へ届けていただいた方、贈答用の淡竹を譲っていただいた方など、八坂地域のやさしさを姉妹都市立川市へお届けすることができ、また、楽しみに淡竹を待っていた方の笑顔を見ることができた大変有意義な１日となりました。

ご協力いただきました皆さんに心から感謝申し上げますとともにご報告とさせていただきます。

八坂公民館の活動から

第１２回八坂地区ふれあい運動会

６月８日（土）第１２回目となります「八坂地区ふれあい運動会」が、八坂小中学校前期課程校舎グランドにおいて、２８０人の参加のもと開催されました。

この時期に開催するのは、今年で2回目となり、保育園児や小中学生も２ヶ月あまりの練習期間でしたが、踊りや組体操をはじめとした、団体演技も観客を感動させる素晴らしい演技でした。また、公民館競技では、３種目を行い普段の運動不足の解消に役立ったかな？と思います。当日は、来賓の皆さんも参加するなど晴天に恵まれ楽しいひと時でした。

八坂塾「創作人形づくり講習会」

おじいちゃん、おばあちゃんのほのぼのとした創作人形づくりの講習会を5月２１日（火）に開講し、全６回の日程で行っています。

この人形は、軍足（くつした）を利用して作りますが、人形の表情や姿は何とも言えずほっこりとした暖かく懐かしい気持ちにさせてくれます。

参加者の皆さんは細かな作業にてこずりながら、思い描いた個性あふれる人形を形にしていきます。

どんな表情の人形ができるか完成が楽しみです。

７月～９月の八坂公民館の利用について

八坂公民館の冷房設備に不具合があるため、熱中症予防として基本的には７月～９月の公民館事業（講座、会議等）につきましては八坂支所で行います。

利用者の皆さんには大変ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

きらり 話題の八坂人

曽根原　崇さん・千穂さん

八坂地域の皆さんはじめまして。

今年３月の人事異動で、大町警察署八坂駐在所に赴任しました「曽根原　崇（そねはら　たかし）」と申します。現在は、妻の千穂と二人で暮らしています。

駐在所の勤務は、佐久市、須坂市、長野市に次いで４所目です。

今まで勤務してきた地域にも様々な特色や良さがありましたが、発生する事件や事故に追われて慌ただしく過ごすという面もありましたので、八坂に来てみて、恵まれた自然の中で、地域の一員として住民の皆さんとふれあいながら勤務できることを嬉しく思っています。

私は安曇野市の出身ですが、曽根原のご先祖様は大町の出身と聞いていますし、祖父母の家が生坂村にありましたので、子どもの頃に遊んだ風景と似た八坂の景色には非常に親しみを感じています。

また、八坂でうれしいのは、私の好物「灰焼きおやき」があることです。おやきに目がない私は、赴任早々、さっそく明日香荘で買い求めていただきましたが、この近辺以外ではなかなかお目にかかる機会がないため、久しぶりに口にすることができて感激しました。しかし、勤務地で好物に巡り会えたことは喜ばしいのですが、不摂生がたたって減量に取り組んでいる最中ですので、残念ながら大好きなおやきも控えめに…といったところです。

さて、自然豊かな八坂地域ですが、反面、隣家との距離が離れていたり、空き家があったり、お留守なのに玄関の鍵をかけていなかったりと防犯上の気になる点も見えてきました。昨年も空き家を狙った空き巣事件が発生していますので、自宅をお留守にする際は、しっかりと戸締りをしていただくほか、空き家となる場合は、屋内に貴重品を置きっぱなしにしないなど、被害防止に心掛けていただきたいと思います。

また、「電話でお金詐欺」被害も未だに発生しています。電話でお金の話やお金が儲かるという話が出たら決して一人で判断せず、ご家族やご友人、または駐在所に相談してください。

お住まいを個別に訪問して防犯や交通事故防止のためのお話をする活動などを通じ、皆さんが安心して生活できる、安全な地域づくりに力を尽くしたいと考えていますので、今後ともよろしくお願いいたします。

編集後記

今年度、新体制となって、スタートしました「やさかだより」編集委員会。今回も引き続き・私が編集委員長を務めることとなりました、新しく編集委員となられた各地区の方々と協力して、地域の話題や行事を取り上げ親しみやすい紙面にしていきたいと思いますので、編集委員が取材や原稿依頼に伺った際には、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

原稿を執筆している現在、季節は梅雨入り直前といったところです。豪雨災害を引き起こすような大雨に降られるのも嫌ですが、昨年のような猛暑続きの空梅雨も体には応えますね。ちょっと鬱陶しいくらいの普通の梅雨であってほしいと願っています。

また昨今、熊、猪、猿などの野生動物が人間の生活範囲に頻繁に現れるようになり、各地で農作物が荒らされる被害が出ています。当地区では、幸い人身被害は発生していないようですが、外を歩く時には鈴を付けて歩くなど、出会わないための準備、工夫を実践してみてはいかがでしょうか。

編集委員長　松下　憲夫

編集・発行　八坂地域づくり協議会やさかだより編集委員会　℡0261 - 26 - 2001